

LED トランスエンブレム for TOYOTA 共通取扱説明書

この度は数ある製品の中から弊社製品をお選びいただき誠にありがとうございます

CAUTION!!



本製品をお取付け・ご使用前に必ず弊社 HP 記載の
共通取扱説明保証規定書をよくお読みになり、
ご理解いただいた上でお取付け・ご使用下さいますようお願いいたします。



取り外したエンブレムは傷などがつかないように柔らかい布で包み
大切に保管してください



◆注意事項◆

- ※本製品はDC12V用として開発、製作しております。
- ※初期不良(取付前の点灯不良等)以外ご使用後の返品はお断り致します。
- ※取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所で行って下さい。
必ず専門の業者に依頼して下さい。

お取付け 方法は別紙に
記載されております。
必ずご覧下さい。

●車検について

光度計測定の結果保安基準適合 (光度 300cd 未満を満たす)

- ※尚、説明書記載以外の取り付けを行った場合 (点滅、加工等) は車検に対応しなくなります。
- また、陸運局にて確認しておりますが地域によっては検査官の主観が異なる事がありますので
事前にご確認下さい。

構成部品 ※内容物は必ずご確認ください

【商品内容】 本体×1・結線用具

本製品の電源結線

黒線 /-(マイナス) 線

黒線に白ライン /+(プラス) 線

お取付け前に

純正のナンバー灯が
LED車輛の場合は
右図を参照し、テスター等で
12ボルト以上の電圧が
供給されている配線を確認し、
結線作業を行ってください。

テスター



12V以上の電圧を測定

テスターの測定位置

ナンバー灯

ナンバー灯

LED トランスエンブレム for TOYOTA 共通取扱説明書

取扱・取付け上のご注意

◎配線類は運転の支障とならないように配線に無理が掛らぬようまとめて下さい。

◎両面テープ等を貼り付ける場合は必ず脱脂して下さい。

エンブレム発光面の破損や剥がれの原因になりますので、以下のような取り扱いはお止めください。

 <p>高圧洗浄機 の使用</p>	 <p>自動洗車機 での洗車 ※エンブレム部分を 養生テープ等で保護した 状態では洗車可能</p>
 <p>強力粘着テープ の貼付 ※エンブレム部保護の際は 粘着力の弱いテープを ご使用ください</p>	 <p>発光シート部を 強く押したり 触ったりしない</p>

◆洗車時は養生テープ等で表面を保護し、力をかけないように十分ご注意ください。

◆自動洗車機では突起物を避ける選択項目がある場合は必ず選択・設定してください。

必要工具類など

◎圧着ペンチ ◎テスター ◎ペンチ ◎脱脂の為のクリーナー
◎ビニールテープ・マスキングテープ・養生テープ等 ◎ドライヤー など

他、スキルや状況に合わせて必要なものをご用意ください

取付け方法概略

- ①純正エンブレムを剥がす。
- ②純正エンブレムのピン穴より配線を通す。
- ③マイナスアースを確実に接続する。
- ④スモールランプ等から+電源を接続する。
- ⑤取り外した部品を元通りに戻す。

LED トランスエンブレム for TOYOTA 共通取扱説明書

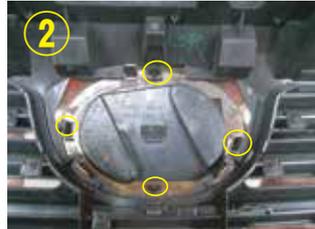
参考取付方法

参考取付方法



① ラジエターフードを外しネジを外します。グリルの下側はクリップで止まっていますのでバンパーを傷つけないよう手前に取り外します。

－ グリルの場合 －



② グリル裏側の黄丸のような爪を外すと、台座が外れます。落下させないように気をつけてください。台座をドライヤーなどで暖め、表面のエンブレムをはがします。

◆スモールランプ連動◆



③ 台座表面の脱脂を十分に行い、ピン穴から配線を通す。配線に負担がないよう注意して下さい。ヘッドライト周辺より(+)電源を取り、(-)線はボディアース接続します。



④ 配線の干渉や点灯状態等、不具合や誤動作などの危険や異常がないことを確認できたら取り外したパーツを元通りに組み上げて完了です。

参考取付方法

－ ボディの場合 －

◆スモールランプ連動◆



① ボディに傷を付けないよう養生を行い、糸等を使用しエンブレムを外す。



② エンブレムが外れたら残った両面テープをキレイに取り除いて下さい。



③ 整備書に従いバックパネルを外します。



④ ※貼付ける前に必ず脱脂する事。ピン穴から配線を入れ、位置を合せて貼り付けて下さい。



⑤ 押さえるときは黄色のポイントに力を掛けて下さい。



⑥ 前述の「お取付前に」を参考に任意の場所から電源を取る。－線はボディアースでも結構です。



⑦ 配線の干渉や点灯状態等、不具合や誤動作などの危険や異常がない事を確認できたら取り外したパーツを元通りに組み上げて完了です。

⚠ 配線の処理に関して注意

配線は車輛にあわせて適度な長さに切って取付けを行ってください。余った配線を束ねたり(結束バンド等)、発熱する場所に固定すると、配線の断線や溶解など様々な不具合の原因になります。